

調査からみた男女共同参画社会

今回は、福生市において実施された2つの調査について取り上げました。

I. それぞれの場における男女の地位について

福生市男女共同参画行動計画（以下行動計画）においては、女性も男性も一人ひとりが人間らしく生きていくためには、長い時間をかけて形づくられてきた性別の固定的な役割分担意識をとりはらい、男女平等の意識を深く根付かせ、育てることが大切であるとされています。

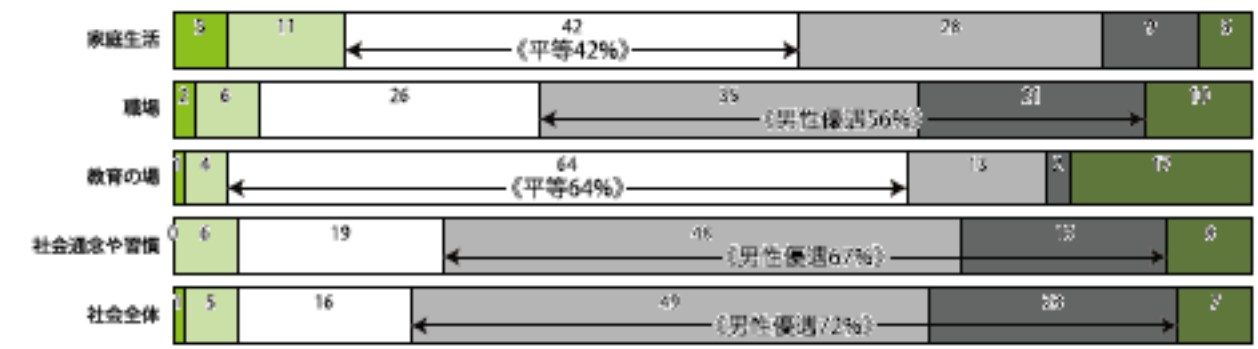
設定

あなたの身近なそれぞれの場において、男女の地位は平等になっていると思いますか。その場にはない場合でもまわりを見て、最も近いと感じるものをお選びください。

世論調査（平成15年度実施） 対象：市内在住の満20歳以上の個人、784人（男性390人、女性394人）



①各場面での平等感を尋ねました。
 《男性優遇》と感じる割合が「社会全体(72%)」・「職場(56%)」・「社会通念や習慣(67%)」と多くなっています。
 また、《平等》については「教育の場(64%)」・「家庭生活(42%)」と多くなっています。



②「家庭生活」を男女別に見たグラフでは、平等感に開きがあります。ここでは男性が平等と感じるのに対して女性は平等を感じる人は少ない。男性はこれで良いと思っても女性からは、まだまだという意識のずれがこの結果から見てくるようです。



③「社会全体」を男女別に見たグラフでは、男女とも、《男性優遇》と感じる割合が高く、「平等」の占める割合は男性が23%、女性が9%と低くなっています。また、この他の「職場」「社会通念や習慣」での平等感も同様に低くなっています。



こうしてみると、家庭生活・教育といった場では比較的男女の平等感が高いようです。しかし、他の場面では依然、男性優遇であるといった意識が高いようです。
 家庭や教育の平等感が、社会全体の中へも、広がりをみせていくよう男女共同参画社会の形成を今後も進める必要があります。

◆グラフの見方 (単位: %)

女性の方が優遇されている
 中々女性の方が優遇されている
 平等
 中々男性の方が優遇されている
 男性の方が優遇されている
 わからない

※百分法の合計が100%に達しない、または上回ることは組織的誤差のためあります。

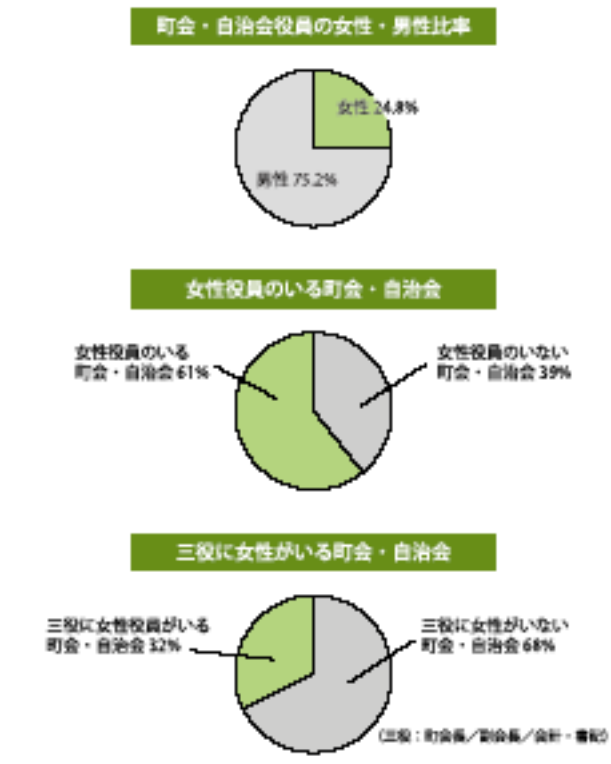
II. 町会・自治会役員における女性の占める割合について

地域活動への男女共同参画の促進は、行動計画に目標の柱として掲げられているものです。地域を住みやすく豊かにするには地域活動への参加は欠かせません。様々な年代の男女が立場を超え、主体的に地域活動へ参画していくことが大切であり、女性リーダーの増加や多くの男性の地域参加が望まれています。今回は町会・自治会の女性リーダーを調べました。

◆町会・自治会における女性参画についてのアンケート結果グラフ

町会長・自治会長アンケート（平成17年度実施）
 対象：町会長・自治会長 34人

福生市内にある34の町会・自治会にアンケートを実施し、女性参画の現状を調査いたしました。結果は以下のようになりました。



女性が役員になったことにより、どんな効果がありましたか？

1	女性が積極的に発言するようになった	11票
2	役員会の雰囲気よくなった	10票
3	女性の参加が増えた	5票
4	町会・自治会の活動内容が変わった	3票
5	特になし	1票
6	その他の意見	
	○町会運営がスムーズ（自然体）に活動でき、役員活性化につながる。	
	○若い女性役員が多い年は活発で積極的な活動になる。	
	○必要に応じ男性役員に配偶者に参加してもらっているため、特に効果はない。	
	○創設以来、女性役員が多いためわからない。	

◆女性が活躍するための工夫を伺いました。（一部抜粋）

- 1. 会議に参加しやすい工夫が必要であるという意見**
- 夜の会合はなるべく早く終わるようにする。
 - 開始時間を少し遅らせる（夕食の支度や帰宅時間等の関係で）
 - 多くの役員が出席できるよう、工夫する
 - 役割分担の配慮

- 2. 家庭や地域の理解が必要という意見**
- 家庭における女性の仕事の軽減など、男性の理解と協力を得ることが必要
 - 町会・自治会の必要性を夫婦ともに理解してもらう。
 - 男女共に男尊女卑の風潮をなくす。
 - 年配者・OBの理解、支援。

- 3. 女性が活躍しやすい役割を設けるという意見**
- 学校のPTA等、教育分野のポストを町会役員の中に設け、行政とのパイプ役として活躍しやすい工夫が必要

- 4. 女性が発言しやすい場面づくりが必要という意見**
- 自由に発言できる雰囲気を作る
 - 女性の意見を取り入れていく
 - 理事会は女性、男性に分かれないように意識して席を設ける。
 - 全員に意見を出してもらおうと存在意識がでてくる。
 - 女性の三役を増やす（三役：町会長／副会長／会計・書記）

- 5. その他**
- 役員役割分担をもっとはっきりした方がよい。
 - 「本会は当町会に居住する世帯主を以て構成する」という会則を変えた方がよい。

会議に出席しやすい工夫では、各家庭での夕食の支度は女性といった役割分担を見直す事も必要ではないでしょうか。また、女性役員のない町会・自治会は約4割です。これからも地域に多くの女性リーダーが望まれます。